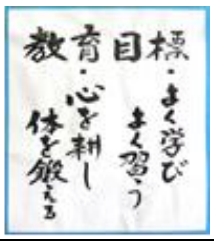
南中だより



令和３年１２月２４日（金）
〒366-0818　埼玉県深谷市萱場320番地
TEL 048-572-8373　FAX 048-573-9638
南中Hp http://www.fukaya-minami-j.ed.jp

『Withコロナ』で、８２日間の２学期が終了！

新型コロナウイルス感染症に大きな影響を受け、今年も学校行事が中止や変更を余儀なくされた８２日間の２学期も、今日で終わります。

振り返ると**「南中生は超えられる　～仲間を信じ勝利をつかめ2021～」**のスローガンのもと、今年も学年別体育祭が開催されました。１０月２１日に１，２年生が、２６日に３年生の学年別体育祭が行われました。わずか２時間の体育祭でしたが、競技種目を工夫し、クラスの団結や学年のパワーを発揮するなど、たいへん盛り上がりました。特に３年生の学年体育祭では、南中の伝統を引継ぎ、２年ぶりに部活行進と部活リレーが行われました。３年生の保護者と１，２年生を含めた全校生徒が見守る中、部長会長の高橋君の言葉は、南中を一つにする感動的なものでした。

１１月１０日には、深谷市教育委員会の委嘱発表を行い、２年３組が英語、２年４組が国語の授業を公開し、それぞれの授業を通して学力向上に向けた２年間の取組を発表し、高い評価をいただきました。１１月２４日には、２年生が学年として初めてとなる校外学習を行い、群馬県榛名湖畔や伊香保グリーン牧場で、仲間との絆を深めました。１２月１４日には、１年生がふるさと学習**「Discover Fukaya City」**で郷土の偉人渋沢栄一翁のゆかりの地を訪ね、栄一翁や深谷市について学びました。そして終業式の今日、１２月２４日には、先日植え替えをした花のプレゼントを持って「花の郵便屋さん」として、２年ぶりに地域のお年寄りを訪問します。

また、部活動では、新人戦の代替大会が１１日から始まり、１２月２６日にすべての大会が終了します。各部活とも限られた練習時間の中でよく頑張り、素晴らしい結果に繋げています。詳細は１月号で紹介します。

さて、明日からは１７日間のいつもより少し長い冬休みが始まります。冬休みは、それぞれが各家庭で過ごすことになりますが、家族の一員として協力し合い、充実した日々を過ごしてください。特に３年生は、進路決定に向けた最後の長期休業となります。最後の最後まで、全力で目標達成に向けて学習に取り組んでください。来たるべき２０２２年が、君たちにとってすばらしい年になることを願っています。

１年生　ＤＦＣで深谷のすばらしさを再発見！

１年生は１２月１４日（火）、昨年度から始まった南中独自の行事である**DFC(Discover Fukaya City)**を行いました。この取組は、郷土の偉人渋沢栄一翁の偉業と深谷市のすばらしさを再発見すると共に、班別行動を通して友との絆を深めることをねらいとしています。深谷駅をスタートして班ごとに大寄公民館まで歩きました。その後バスで、血洗島へ移動し渋沢栄一記念館と中ん家で栄一翁について学びました。昼食時には雪がちらつく寒い日となりましたが、計画どおりに行動できました。この行事の経験を、１月に行われるスキー教室に活かしてほしいと願っています。

『花の郵便屋さん』引継式に１０６名が参加！

１２月９日（木）は、桜ケ丘小の皆さんが育ててくれたパンジーやキンギョソウを、深谷西小の皆さんが書いてくれた手紙を、南中や民生児童委員さんへ引き継ぐ花の郵便屋さんの「引継ぎ式」が行われました。

今年も南中の各学年からの、１００人を超えるボランティアの生徒が参加し、みなみガーデニング倶楽部の皆さんのご指導の下、苗を鉢に寄せ植えする作業を一生懸命行いました。

南中では、寄せ植えした鉢に潅水するなどお世話をして、１２月２４日の郵便屋さんの当日を迎えます。南公民館やみなみガーデニング倶楽部、民生委員や自治会長の皆様、ご協力ありがとうございました。

第２回学校運営協議会で意見交換を実施

１２月９日(木)、第2回学校運営協議会が開催されました。学校からは、まず全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果と、11月10日に実施した深谷市教育委員会委嘱発表について報告しました。続いて、コロナ禍のため中止となった学校行事や、これから実施を予定している学校行事について説明しました。さらに、生徒の地域での様子について情報交換を行いました。学校運営協議会の委員さんからは、学力向上に向けて頑張らせてほしい、生徒の自尊感情を高めて欲しい、地域では相変わらず良くあいさつをしてくれている、修学旅行は旅行地を見直すなどしてぜひ実施して欲しい、校則は時代の流れを見ながら検討すべき時期に来ている等、多くのご意見をいただきました。

これらの貴重なご意見を、今後に生かしていきたいと思います。

２年生　校外学習で榛名湖畔をﾄﾚｯｷﾝｸﾞ！

１１月２４日(水）に２年生が校外学習として群馬県榛名山と伊香保グリーン牧場に行ってきました。当初予定していた大滝げんきプラザの１泊２日の自然体験学習は、コロナ禍のため中止となったため、その代替行事として、日帰りの体験学習を行いました。

実行委員会を中心にたいへん短い期間で様々な準備を確実に行い、充実した取り組みとなりました。２年生にとっては、初めての校外での団体活動でしたが　①時間を守る　②ルールを守る　③しっかり挨拶をする　という目標がしっかりと達成でき、来年の修学旅行に繋がる、素晴らしい成果を上げることができました。

『中学生の主張』で優秀賞を受賞しました

１２月１２日(日)に、深谷市民文化会館で、令和３年度青少年健全育成深谷市民大会で「中学生の主張」が行われました。南中からは３年生の小暮優衣さんが出場し、見事優秀賞を受賞しました。

日	曜	令和4年1月のおもな行事
1	土	学校閉庁日　部活動中止　***元旦***
2	日	学校閉庁日　部活動中止
3	月	学校閉庁日　部活動中止
4	火	冬季休業日
5	水	冬季休業日
6	木	冬季休業日
7	金	冬季休業日
8	土	
9	日	
10	月	成人の日
11	火	３学期始業式　避難訓練③　給食なし
12	水	給食開始 全学年実力テスト SUL(３年)
13	木	登校指導日(全員)　３年私立受験面接練習
14	金	生徒会専門委員会
15	土	深谷西小資源回収
16	日	
17	月	SUL(全学年)
18	火	JOCオリンピック教室(2-1③④、2-2⑤⑥)
19	水	JOCオリンピック教室(2-3③④、2-4⑤⑥)　SUL(３年)
20	木	
21	金	新入生説明会　３年私立入試直前指導⑤
22	土	夢・きらきらアート展　３年私立入試中心日
23	日	夢・きらきらアート展
24	月	SUL(全学年)
25	火	生徒評議会
26	水	３年三者面談(希望者)　SUL(３年)
27	木	３年三者面談(希望者)　１年スキー教室(長野県菅平ｽｷｰ場)
28	金	３年三者面談(希望者)　１年スキー教室(長野県菅平ｽｷｰ場)
29	土	埼玉県児童生徒美術展
30	日	埼玉県児童生徒美術展
31	月	SUL(全学年)

※新型コロナウイルス感染症の動向より、予定が変更になる場合もあります。

2学期を振り返って

1年3組　髙橋　昇平　君

二学期は学年全体での行事として、二つのことがありました。
一つ目は学年体育祭です。学年体育祭は、一学年全体で行う初めての行事でした。初めてということもあり、最初の学年練習では、全くまとまることができませんでした。しかし、学年練習を続けていくうちに、だんだんとクラスで協力できるようになりました。学年体育祭本番では、どのクラスも全力で取り組み、クラスだけでなく、学年全体でまとまることができました。僕たちのクラスは、惜しくも準優勝でしたが、体育祭を通して絆を深めることができました。
二つ目は、DFC です。DFC は、「ふれてみよう、伝えよう、つなげよう、これからの深谷の未来へ」のスローガンのもと行われました。DFC では、総務・生活部、班別行動部、学習部、美化部、保健部の五つの部に分かれ、事前準備や当日の役割活動をしました。事前準備では、しおり作成やルール決めなど、取り組む内容が多くありと大変でしたが、DFC 本番では一人一人が自分の役割を果たし、DFC を成功へ導くことができました。僕は、郷土の偉人渋沢栄一翁について学び、渋沢栄一翁が「自分だけが豊かになるのではなく、世の中全体が豊かになること」を目指して、様々な事業を行なったことがわかりました。僕も自分だけでなく、南中学校全体がより良くなるように活動していきたいと思います。
３学期は一年生最大の学校行事である、スキー教室があります。スキー教室では、学年体育祭や DFC での経験を活かし、全員が楽しいと思えるような行事にできるように活動していきたいです。また、学校生活では、立派な二年生になれるように、これまで取り組んできた二分前学習の更なる徹底と、家庭学習の習慣化を目標に頑張っていきたいと思います。

2年3組　馬場　夢花　さん

私は二学期で頑張ったことは、二つあります。
一つ目は、校外学習です。新型コロナウイルスの影響でスキー教室も林間学校も中止になり、中学生になって初めての校外学習だったからです。事前に榛名湖や伊香保グリーン牧場について調べ、自分たちで班の行動予定を考えたりして、校外学習の目標であった仲間との絆を深めるということを達成できました。けれども、反省することもたくさんあります。当日集合した時に話をしていたりして先生たちの指示が聞こえないことや集合時間になっても班が集まらなかったりと課題がありました。三年生になると修学旅行が予定されています。修学旅行の時に今回のようなことが起きると大変なので、反省を活かせるようにしっかり改善していきたいです。
二つ目は、学習です。中学校生活も半分が過ぎ進路について考えなくてはいけないからです。三者面談で進路のことを聞かれ、話を聞いているうちにもっと勉強に力を入れなければならないとあせる気持ちになりました。定期テストの回数も残り少なくなり、勉強のやり方を工夫して少ない時間でも濃い勉強ができようにしていきたいです。二学期を振り返って三年生までに直さなければならないところ、努力しなくてはいけないことがたくさんあることに気づきました。なので後悔しないように三学期のうちに直していけるように自分の生活を見直していきたいです。

3年3組　髙橋　凛花　さん

二学期も今日で終わり、明日から冬休みに入ります。皆さんは、冬休み明けの三学期をどのようなものにしていきたいですか？私は、二学期に行われた行事や出来事を振り返ることで、自分の考えを見直すことがありました。
まずは、実力テストや定期テスト。今まで勉強してきたことの復習は勿論、新しく学ぶことも多くあった中でのテストだったため、一番勉強をした二学期になりました。周りの友達も勉強を頑張っていて、授業中の雰囲気も良い方向へ変わったような気がします。そんな中、私はテストの結果がなかなか伸びず、みんなに遅れを取っているように感じることが多くありました。入試の後で、「もっと勉強しておけばよかった」と後悔することがないように、自分の納得いく勉強量をこなしていき、本番に臨みたいです。
そして、学級や学年を通してみると合唱祭や修学旅行が中止となり、学年の行事としてできないことがたくさんありました。そんな中でも昨年同様、規模を縮小した形で行われた体育祭や各委員会のように、学年全体が協力をして取り組めることもありました。特に体育祭は、昨年はできなかった部活動対抗リレーも実施され、体育委員を中心に、行事を盛り上げることができました。その他にも、学年で行われたクラス対抗レクなどがありました。レクは、大縄跳び、綱引き、大鬼ごっこをやり、自分たちのクラスは綱引きで一位を取ることができました。楽しみにしていた修学旅行の中止は残念でしたが、限られた行事の中自分たちで工夫して、楽しみを見つけていくことの大切さを学べたように思います。
このように、二学期を振り返ると反省や目標が見えてきました。しっかりと受け止め、三学期の生活にいかしていきたいです。そして卒業まで南中最高学年として、自覚をもって行動していきます。

青少年健全育成深谷市民大会　中学生の主張　優秀賞　「繋がる世界」3年2組　小暮　優衣　さん

2100 年を生きる中学生の皆さん。皆さんは中学校生活を思いきりエンジョイしていますか、今しかできないことを仲間と協力して取り組んでいますか，給食は美味しいですか。新鮮な野菜、肉や魚、そして美味しいお米を食べていますか。2021 年の現在、世界中の人々が今までの日常とはかけ離れた、異常な日常を過ごしています。
新型コロナウイルスが猛威を振るっている影響で、多くの人々が現在の生活を不便に思い、生きづらさを抱えながら生活しているのです。私たち中学生もその中の一人です。それまでの日常とは大きく変わり、思い描いていた中学校生活ではなくなりました。行われるはずだった行事、部活動の大会、修学旅行、様々なことが延期や中止になりました。そんな日常の中で「2100 年未来の天気予報」の存在を知り、動画を視聴しました。その内容に驚いたのと同時に 2100 年は、今の私たちよりも過酷な日常を過ごしているかもしれない、と気づくことができました。そして、2100 年を生きる中学生の皆さんのことが心配になりました。このまま経済重視の政策をすすめた結果、二酸化炭素濃度が上昇してしまい、地球温暖化が深刻になってしまうと予想されていたからです。最高気温 40 度以上、熱中症で亡くなる人は 15,000 人以上、スーパー台風の接近、竜巻や豪雨、洪水。それらの影響で農作物への被害も大きくなるそうです。そんな状況の中で、2100 年を生きる中学生の皆さんが、中学校生活を思いきりエンジョイしている姿を想像することが私にはできませんでした。
しかし、それを食い止めようと 123 か国と一地域が 2050 カーボンニュートラル宣言を表明し、温室効果ガスを全体としてゼロにすることを目指すそうです。それは、排出量と除去量を差し引いた合計をゼロにするということです。排出をゼロにすることは難しい。排出しなければならなかった分については、同じ量を吸収または除去することでネットゼロを目指します。日本では環境省が中心となり、2050 カーボンニュートラル、全国フォーラムが開催され、様々な立場の人が意見を交換し、実現に向けた取り組みを発表したそうです。
2021 年を生きる私たち中学生から、2100 年を生きる中学生の皆さんのためにできること。温室効果ガスを減らすために、中学校生活において私たちがすぐに始められることを考えてみました。使用していない教室の電気を消す。水道を出しっぱなしにしない。エアコンの温度設定を 28 度にする。文房具など使えるものは最後まで大切に使う。給食は残さない。ゴミは分別してリサイクルする。他にもできることはたくさんあります。一人ひとりの行動が大きな力となるのです。その第一歩として、多くの中学生に「2100 年未来の天気予報」を視聴してもらい、私と同じように、それについて考える機会を作ってほしいです。「地球温暖化」の先にある過酷な時代を生きる中学生たちの姿を想像してほしいのです。
突然だった学校の休校、先輩と出場するはずだった大会の中止、行くはずだった林間学校や修学旅行。私たちは悔しい思いや残念な思いをたくさん経験しました。そんな私たちよりも、2100 年を生きる中学生の皆さんが生きづらい社会にしてはならないのです。一人ひとりの行動力が必要です。私たちに今できることを始めましょう。ライフスタイルを変化させるのです。2100 年を生きる中学生の皆さんが中学校生活を思いきりエンジョイしている姿を思い浮かべてください。さて、あなたは今から何をしますか。